

あしたむらんどだより

臨海学習

下條中学校一年A組 細田 真仁



先日、七月十二日の火曜日と十三日の水曜日に臨海学習で福井県

若狭湾青少年自然の家に行きました。行きのバスでは、ビンゴなどのレクをしました。レク係が一生懸命進めてくれたのでとても盛り上がりました。僕は学習係でクイズを三十問出題しました。盛り上がってくれたので良かったです。バスレクが終わりました。自然の家に着きました。そして入所式をしました。きちんと話を聞いたら、昼食を取りました。バイキングでした。班のみんなと楽しく、おいしく食べられました。臨海学習には、メインの行事が三つあり、その一つのカッター訓練をしました。ライフジャケットを着たら、この訓練で大事な事・かけ声・かいのこぎ方などを教えてもらったから、カッターに乗り込み、いよいよ出発です。僕は内側だったので、

とてもつらかったです。最初は、かいをこぐタイミングもずれていたので、最後はそろっていました。良い体験ができたと思います。二つ目のメインの行事、キャンプ

ファイヤーをやりました。レクをいくつかやりましたが、僕はクラスの出し物が一番楽しかったです。僕のクラスはチューチュートレインを踊り、海の声を歌いました。みんな楽しんでくれました。二日目が始まりました。朝は、集いの広場で学校紹介やラジオ体操をしました。その後朝食を取り、最後のメインの行事の水泳訓練をしました。僕はずっと足のつかない所を泳ぐAグループでした。海底は大きな岩でこつこつしていて、海底が見えないほど深い所もありました。楽しい水泳訓練でした。僕



はこの臨海学習で、下條村にない海で様々な体験をすることができました。この体験を期に海で安全に泳ぎたいと思います。とても楽しい臨海学習でした。

模擬議会

下條中学校三年A組 串原 陽愛



七月十四日に平成二十八年度下條村模擬議会が行われました。

私たちの班は、現在村内に多くある空き家の活用について考えました。役場の方からのお話をお聞きし、空き家が十年後には現在の二〜三倍になると考えられる、ということを知り、その空き家をリフォームし住宅として売り出すことを考えました。提案をするにあたってメゾンコスモスの居住者にアンケートに協力していただきました。

その結果から、当初の私たちの提案は難しいと考え、村内の土地を宅地として造成することを提案しました。村民からの意見はとても大切であり、自分たちは思いつかなかつたことが出てきたりします。今後、村で何か政策を打ち出す際には、積極的に村民の意見を取り入れていただきたいと思



います。

また私は今回の模擬議会で議長を務めさせていただきました。学校で行う生徒総会の議長も務めたいのですが、そのときとはまた違った緊張感があり、思わず早口になってしまいました。議事を進めていくうえで予想外のこともありました。臨機応変に対応することができてよかったと思います。議長として今回学んだことを、今後の議長の仕事に役立てていきたいです。

今回の模擬議会では九つの提案をさせていただきました。これらの提案はどれも中学生が下條村の今、そして未来のことを真剣に考えた結果です。村長さんには多くの意見を前向きに受けとめていただき、うれしく思いました。この学習を通して、下條村について深く考え、調べ、提案するなど、とても充実した経験ができました。



村の図書館から



「一日図書館長」で 図書館の仕事を経験

七月三日(日)午後、開館記念イベントとして毎年開催する「一日図書館長」を行いました。利用者代表や小中学生など計八人が委嘱場を受け取り、図書館の仕事内容を体験しました。

平成七年七月七日の開館日以来継続して、図書館の役割や使命を一般の村民にも理解してもらおう事を目的に開催してきました。

はじめに宮島俊明副村長が、今年七月任期を終える伊藤村長より寄せられたメッセージを朗読。「オープンより利用があるかどうか最大の不安でしたが、村民の皆様のご協力と職員の取組みにより、利用が多く心より感謝。未来に向けてますますご期待を申し上げます」と伝えられた。

八人の一日図書館長は、宮島副村長より辞令を受けると、図書館入口で記念撮影。その後、会議室にて図書館の概要説明を受け、いよいよ業務体験へ。カウンターにて貸出返却業務や、棚へ本を戻す返本を体験。また新刊の分類やデー

夕入力等の図書受入業務を体験し、ふだんは入る機会のない書庫を見学しました。

その後は、懇談の中で図書館への要望や感想をいただきました。

平成二十八年度一日図書館長

【利用者代表】 (敬称略)

宮嶋 栄次(中島)

北尾 隆代(阿知原)

鎮西 時江(鎮西)

中村みちる(北又)

【小学校PTA副会長】

筒井千代子(阿知原)

【中学校PTA副会長】

野中 万紀(北又)

【小学校児童会図書委員長】

市瀬 俊介(西部)

【中学校生徒会図書委員長】

佐々木福音(北又)



いただいたご要望

★飯田広域ネットワークに入れば便利になるので検討してほしい。

★タッチパネルでの検索で、本の場所表示がたまかすぎてわかりにくい。修正したほうが、利用しやすくなるのでは？

★中学校のアンケートで読書通帳導入についてどう思うかという質問があった。自分や子どもの借りた本の記録が残せたら、とてもうれしい。ぜひ公共図書館での導入を検討してほしい。

いただいたご感想

★貸出返却は誰でもできるけれど、棚に本を返す作業と本の登録は、とても大変だと思った。

★書庫の本も借りられることが分かったのでじっくり見て、借りてみたい。村の日本一も立派だが、図書館も立派。

★本が準備される過程などを知り、今までより「本を大切にしながらは」と思った。

★子どもが小さいので、いつも利用している。簡単に借りているが借りるまでにこれだけの苦勞があるかわかった。図書館の本や資料は貴重な財産。村の多くの人に知ってもらいたい。

★子どもが小さい時には来たが、大きくなってからは足が遠のい

た。また利用したい。

★たまに調べもの来ると、親切に対応してくれてうれしい。図書館が村に密着し、村民の役に立っていることを感じた。

★学校での図書館運営に生かしていきたい。

建設労連の皆さんが ボランティアで修理

建設労連の皆さんのボランティアにより、図書館の外の野外ベンチの部分的修理と、カウンター通路の壁が補修されました。利用者皆さんに、安心して使っていた



だけるようになります。ありがとうございました、ご報告します。ありがとうございます。ございました。

